

2月の保育目標

<年少組> ねらい：寒い中でも元気に体を動かして遊び、体力を付ける

健康：食べこぼしなどに気付き、自分で拾ったり保育者に伝えたりして周りをきれいにしようとする

マラソンを行い、体を温めて持久力を付ける

人間関係：鬼ごっこやハンカチ落としなどの集団遊びのルールを友だちや保育者と確認しながら行う

環境：豆まきをしたり、鬼を使った的当てゲームをして節分を楽しむ

言葉：クッキングで友だちや保育者と話をしながら作って食べて、食への関心を持つ

表現：劇遊びを通して、保育者の真似をして振り付けをしたり、自分でオリジナルのポーズを考えたりする

<年中組> ねらい：友だちとイメージを膨らませ、自分の考えを伝えながら様々な事に
取り組む

健康：冬の健康な生活に必要な生活の仕方を見通し、手洗いやうがいなどをする
リズム感覚や体感を鍛えられるように、縄跳びや大縄で体を動かす

人間関係：友だちとの繋がりを深め、集団で活動する事を楽しむ

環境：日本の伝統行事に興味を持ちながら、節分の豆まきに取り組む

言葉：登場人物の気持ちになって、保育者や友だちとイメージを膨らませ、共有しながら
劇遊びを楽しむ

表現：友だちと共通のイメージを持って、遊びを楽しむ

<年長組> ねらい：就学への期待を高め、自分で生活の見通しを持ちながら活動を行う

健康：就学に向けて活動の中で自分で出来る事を考え、積極的に行動に移す
サッカー大会やドッジボール大会に向け、持久力を高めるためにマラソンをする

人間関係：クラスで集団遊びをしたり、卒園制作をしたりしながら残り少ない時間を大切に
にし、友だちとの最後の交流を楽しむ

環境：節分の由来がわかる絵本を読んだり、鬼のお面や豆入れ制作を通して、節分を
楽しむ

言葉：数を使ったボードゲームをしたり、自分で絵本や室内の掲示物を読んで数字や
言葉の理解を高める

表現：制作や絵画をする中で、みんなで話し合っって想像したイメージを絵の具や画用紙、
色々な素材を使って思い思いに表現する

<コアラ> ねらい：身の回りの事など自分で出来る事が増え、自信を持って生活をする

健康：靴の左右や衣服の前後に気付いたり、聞いて直そうとする

ストレッチ体操を取り入れて、柔軟性を高める（怪我の防止）

人間関係：相手にも思いがある事に気付き、少しずつ自分の気持ちを抑えようとしていく

環境：冬の自然に目を向けて吐く息や雪、氷の減少に気付き楽しむ

言葉：「鬼は外」（嫌な事、災害、ケンカ）「福は内」（嬉しい、楽しい事）を理解して

日本の風習である節分の豆まきに参加する

表現：ままごとのごっこ遊びを通し、言葉で表現しながら遊ぶ楽しさを実感する

<つばみ1> ねらい：簡単な身の回りのことを自分でする

友だちとかかわり合いながら一緒に遊ぶことを楽しむ

健康：保育者に見守られながら、着脱やトイレ、片付けなど身の回りのことを自分でする

手洗いを丁寧に行う習慣を身につける

ボールを握ったり、投げたりする遊びを楽しみながら、筋肉の強化につなげていく

人間関係：友だちや保育者の名前がわかり始め、名前を呼んだり、好きなお友だちの近くで遊んだりする

保育者の励ましの言葉に頑張ろうとしたり、褒められたことで自信をつけていく

環境：吐く息の白さや風邪の冷たさから、冬の寒さを感じる

言葉：遊びの中で自分の気持ちや欲求を言葉にして伝える

劇遊びの台詞を覚えて大きな声で言う

表現：劇遊びやごっこ遊び・体操・リズム遊びで身体を動かしながら楽しむ

<つばみ2> ねらい：寒さに負けず、元気に遊び、冬の季節を楽しむ

友だちとのかかわりを深める

健康：午睡がなくなり、様子に合わせて個別の対応をしながら、午後の活動も元気に行う

遊具を使ってバランス感覚や瞬発力を高めていく

人間関係：年長・年中児の遊びや活動に興味と憧れの気持ちを持ちながら、戸外遊びなどでかかわりを持つ

クラスの友だちと手をつないでペースを合わせながら行動したり、グループで活動することを楽しむ

環境：数字や物の形に注目し、時計の長針の針が指し示す数字を見て遊びの片づけを始めたり、形の細かな違いに気付いたりする

言葉：劇の遊びを通して、役になりきって台詞を言ったり、やりとりを楽しむ

表現：劇の登場人物になりきって動いたり、感情を表情で表現したりして楽しみながら劇を完成させる